

住環境やご要望に合わせて、個別にプランニング

段差があって車いすが使えない場合 「かるがる®V」を導入

洗面室と浴室の間に段差があると、車いすではそのまま入れません。それぞれの部屋にレールを組み、洗面室からリフトに乗ったまま浴室へ移動できるようになります。

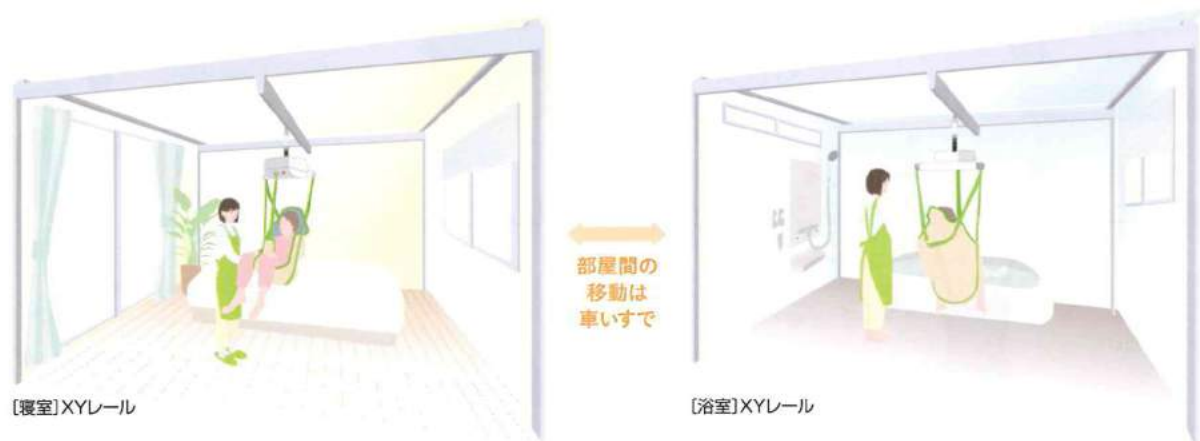


〔洗面室〕1本レール

〔浴室〕XYレール

部屋と部屋の間を車いすで移動できる場合 「かるがる®プチV」を導入

介助者が抱きかかえて移動をしていた寝室、浴室にそれぞれXYレールを設置。それぞれの部屋の中での移動が楽になり、介助者の負担が軽減します。



〔寝室〕XYレール

〔浴室〕XYレール

部屋の移動は車いすで

介護シーンに合わせて、組み合わせは自由自在

■かるがる®V

部屋から廊下へ、浴室から脱衣室へ、マンション等の大きな梁があってもベルトを掛け替えることで、リフトに乗ったままスムーズに移動できます。



浴室→洗面室
※写真のリフト本体は「かるがるⅢ」です。

■かるがる®プチV

レールはそれぞれの部屋に設置。部屋間の移動は車いすで。その方のライフスタイルに合わせる事が可能です。



- 寝室：ベッドからそのまま車いす、ポータブルトイレ等へ移動できます。
 - 浴室：浴槽と洗い場の移動もスムーズに行えます。
 - トイレ：トイレのような狭い空間でも使用できます。
- ※写真のリフト本体は「かるがるプチ4100」です。

■XYレールシステム

部屋の隅々まで移動が可能。模様替えも自由にできます。

